

診療科目：呼吸器・心臓血管外科

カテゴリー：選択必修科目、選択科目

一般目標：呼吸器外科および心臓血管外科の診療に必要な基本的診断法，検査手技，基本手術手技から，呼吸器外科および心臓血管外科の最先端の治療法までを経験し，研修期間内には基本的な診断・手術手技・周術期管理の基礎を身につけることを目標に研修する。

【個別目標】

- ・ 呼吸器外科疾患についての適切な検査，診断，治療方針を理解する。
- ・ 呼吸器外科手術に必要な解剖を理解する。
- ・ 指導医監視のもとで，胸腔ドレナージなどの基本手技ができる。
- ・ 呼吸器外科疾患の術後管理を理解する。
- ・ 心臓血管外科疾患についての適切な検査，診断，治療方針を理解する。
- ・ 心臓血管外科手術に必要な解剖を理解する。
- ・ 指導医監視のもとで，動脈圧ライン，中心静脈ライン留置，大腿動静脈露出などの基本手技ができる。
- ・ 心臓血管外科手術の術後管理（循環作動薬，人工呼吸器，循環補助装置など）を理解する。

【指導原則・方法】

- ・ 呼吸器外科，心臓血管外科の手術に数多く参加する。
- ・ 指導医の外来に参加し，診察補助・検査補助を行う。
- ・ 症例検討会，フィルムカンファランス等に参加，発言する。
- ・ 呼吸器内科，腫瘍内科，循環器内科等との合同カンファランスに参加し，呼吸器疾患，循環器疾患を統合的に把握する訓練を行う。
- ・ 指導医の指導の下，当直業務を行う。